

都会から“元氣”を!! 大田から“感動”を!! 山村留学



大田市山村留学センターは、国立公園三瓶山の麓に位置し、豊かな自然とのかな山村風景の広がる北三瓶地区で、長期留学生の受入を始めて7年目を迎えました。

今年度は北海道、東京、千葉、大阪、三重、兵庫、福岡から小学5年〜中学3年までの9名が地元北三瓶小・中学校に通いながら、集団生活を送っています。

1ヶ月の3分の1を農家で過ごし、農村に受け継がれてきた知恵や、山村の文化などを体験します。

農家での生活

農家では、子どもはお客さん扱いされません。農家の子どもとして過ごします。洗濯や掃除などの自分の身の周りのことは自分ですることはもちろん、生活の日課として風呂焚きなど家の手伝いもします。

また、あいさつや食事の作法などはそれぞれの農家

でしつけられます。最初は馴染むことができない子ども農家の父さん、母さんの厳しくも温かい愛情を受けながら次第に農家での生活にとけ込んでいきます。

休日は



トマトまるかじり!

休日は畑で、野菜の収穫を楽しみます。夏には、瑞々しい胡瓜、ゴーヤなどを丁寧に収穫します。収穫の合間には真っ赤に熟れたトマトにかぶりつきながら「とれたてを畑で食べるのが一番おいしいんだよ!」と大きなトマトをペロリ。

ここでは、食育教育をしなくても、大地の恵とふれあうことで本物の野菜のおいしさを知り、好き嫌いも

徐々に少なくなっていくます。



よく熟れたゴーヤの種はとっても甘いんだよ

また、近所の子どもたちと野山の探検など、山里を駆けめぐって思いっきり遊ぶのも楽しみのひとつです。

子どもを預かるということ

「子どもを預かるにはそれなりの覚悟がいります。大切な子どもさんを預か



稲刈りのお手伝い



笹団子づくり

る訳ですから、病気や怪我のないようにと心配は絶えません。でも、1年しか留学しないと行ってた子が、2年3年と継続した時は嬉しいし、修園して実家に帰った子が、連絡をくれたり、夏休みなどに泊まりに来てくれるのが本当に嬉しいんです。

また、継続した子が後から入った子(あるいは年下の子)をルールが守れないときなどに叱ったりする姿を見ると成長を感じて頼もしくなるし、そういうことを通して本当の兄弟のような関係を築いていくのを見るのは嬉しい。山村留学の子どもを預かることで、地

域全体で子どもを育てているという連帯感が生まれ、近隣との関わりも強くなる。山村留学がなければ殺風景な集落になるだろう。」と農家さんは言います。



みんなで食べるごはんはおいしいよ！

地域との関わり

9月には学校主催の「三瓶っ子大運動会」が開催され、学園生はもちろん、保護者、OBなどが北三瓶に集います。保護者は受入れ農家の自治会の一員として様々な競技に参加し、農家や地域と交流しました。また、10月には稲刈りと脱穀作業を行いました。4月に種もみを撒き丹念に

育てる力がココにある

私の子どもは、3年間三瓶でお世話になりました。きっかけは山村留学で「引っ込み思案」を変えられるかも…という思いからでした。最初は他の園生との人間関係に悩んだり、ホームシックにかかったりすることがあったようですが、時間の経過に伴って本当の家族のような関係が広がり、様々な活動を通して力を合わせる事の大切さも学んだようです。今は、大学で映画や演劇について学んでいます。以前に比べると何事にも前向きで、自信と希望をもって青春を謳歌しているようです。

私や子どもにとって、三瓶はとても大切に安心できる場所「古里」です。修園して4年経った今も、訪れると地域の方が顔を覚えていてくれ、声をかけてくれます。

この三瓶（大田）の豊かな自然や奥深い伝統・文化、なによりあったかい地元の方の人情は全国に誇れる大田市の「財産」だと思います。山村留学を体験した子どもたちは幸せです。本当に大事なものは目に見えませんが、山村留学体験を通じて、子どもたちの心の中にこれからの混迷の世の中を「生きぬく糧」は確実に芽生えています。

是非、多くの皆さんに山村留学の素晴らしさを体験してほしいと思いますし、こういう混迷の時代だからこそ、人間らしく、伸び伸びと、前向きに、人生を肯定して生きる子どもたちを育てる力が三瓶（大田）にはあると信じています。

長期留学生OBの保護者
千葉県 本多真結実さん

収穫祭に向けて

子どもたちが半年かけて大切に育てた米や野菜などの作物が無事に収穫できた事を自然に感謝すると共に、お世話になった農家さん、地元の方々に感謝の意を表す『収穫祭』を11月20日(土)、21日(日)に開催します。1日目は子どもが興味を持ったことについて研究に取り組

育ててきた稲を農家の父さん、母さんや地元の推進委員さんの指導のもと、全て手作業で行いました。



昨年の収穫祭
練習を重ねた太鼓を披露

んだ成果を個人発表します。また、島根に伝わる民話劇太鼓や安来節などの踊りの披露も。
2日目は保護者や受入れ農家、地元農家によるバザーや模擬店を予定しています。ぜひお立ち寄りください。

長期留学生募集

山村留学センターでは、23年度の長期留学生を募集しています。大田の豊かな自然や、人々とのふれあいを通して今までの暮らしでは決して得られない「宝物」を見つけませんか？

また、冬休みを利用した短期事業も予定しています。

詳しい資料などご希望の方は、お問い合わせください。



〈問い合わせ・申し込み〉

大田市山村留学センター 三瓶こだま学園
〒694-0002 島根県大田市山口町山口1694
☎0854-86-0700 FAX0854-86-0701
URL <http://www.iwamigin.jp/ohda/sanryu>
E-mail o-sanryu@iwamigin.jp

さんべ こだま 検索